



朝日子だより

吉田高校 進路指導部

H22. 12. 6 発行

学生編 Vol. 9

吉高生のみなさんへ

拙い文章ではありますが、お役に立てれば幸いです。みなさんの高校生活が充実することを心から祈っています。

久保田 まゆ (平成18年度 理数科卒業)

立教大学 社会学部 メディア社会学科 4年生



現在学んでいる内容・・・

私は現在、社会学部メディア社会学科という学科に在籍しています。メディア社会学とは簡単に言えば、テレビやインターネットなど、私たちと情報とをつなぐ「メディア」について、社会の中での役割とは何か、批判的な視点をもちつつ検証していく学問です。具体的に言えば、ジャーナリズムとは何か、現在のジャーナリズムの問題点とは何か、といった固い内容から、テレビドラマが視聴者に与える影響を考えるとといった内容まで、メディアについて幅広く学んでいます。

私が受けた授業の中で面白かった授業について紹介しようと思います。メディア社会学科の強みは、各業界で実際に働いている方をゲストスピーカーとしてお招きし、講義をしていただいている授業が多いことです。代表的な授業として音楽業界について学ぶ授業があります。レコード会社の社長をお招きし、現在の音楽業界の問題点とは何か、ヒットを作るために必要なことは何か、という講義をしていただき、その後学生との質疑応答が行われます。業界の最前線にいる方々に直接意見したり、疑問をぶつける機会は大変貴重で、とても興味深いものでした。

大学の様子・・・

立教大学は池袋キャンパスと新座キャンパスがあります。私がいる池袋キャンパスは、赤レンガで建物が統一されていてとても美しく、ドラマの撮影やファッション誌などの撮影場所になることも多いです。異文化コミュニケーション学部という学部が新設されたことで、外国人の学生も多く在籍しています。クリスマスには校門を入ったところに立っている2本の木にイルミネーションが施され、学生以外にもたくさんの方が大学を訪れます。また現在新校舎や中央図書館の建設が進んでおり、今後さらに学習しやすい環境になると思います。

大学入学前と入学後の印象の差・・・

「自由」 < 「自立」です。大学入学前、私は大学の自由さに憧れていました。しかし入学してより大事なことは「自立」であり、それこそが大学生活の醍醐味だと実感しました。大学の授業は卒業するために必要な単位を取得できればどんな授業を取ってもかまいません。サークルや部活に入る・入らないも自由ですし、授業を休んで遊んで暮らしていても、怒る人はいません。そんな自由な環境にいと、人はどんどん怠惰になっていきます。その自分の怠け心をどう律するのか、どのようにモチベーションを維持するか。自分で考えて自分なりのやり方を見つけていくのが大学生活の面白い点だと思います。



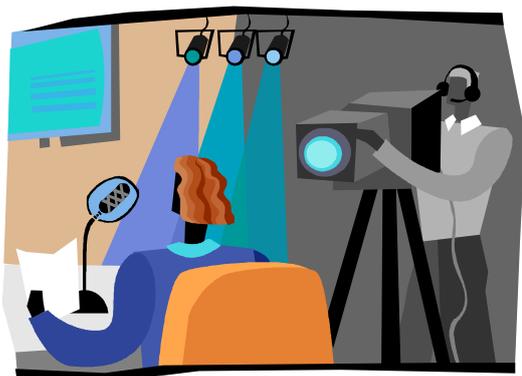
高校生と大学生の違い・・・

一番の違いは「きっかけ」の多さです。どんな授業に出るか、どんな学生生活を送るかは自分次第なので、行動力があればあるほど様々な出会いや経験を行うことができます。留学をする学生もいますし、テレビ局に興味があるからテレビ局でアルバイトをする、という学生もいます。学生のうちから起業し卒業後は社長になる、というすごい人もいます。ただ残念なことに、経験を積み



ばいいと勘違いしている人が多くいる、とも私は思います。本当に大事なことは、その経験や人との出会いから、「何を学ぶか」「その経験をどう活かすか」です。みなさんも経験したことがあると思います。問題集をたくさん解いた、という自己満足で終わってしまっていないですか？間違っただけの問題を見直したときに、なぜ間違えたのか考えなければ、また同じミスをしてしまいます。それと同じで、「他人とは違う経験をしている」という自己満足だけでは「学ぶ」ことにはつながりません。例えば、学生のうちに企業で職業体験をするインターンシップに参加するとします。社員の方の仕事ぶりを見て「すごい」とただ感心するのではなく、「何がすごいのか」考えることが大切です。何がすごいのか気付くことができれば、自分に今何が足りないのかが見えてきます。

経験を積むきっかけ＝考えて学ぶきっかけを生かすも殺すも自分次第です。充実した4年間を過ごすためにも、より多くのきっかけを掴んでほしいと思います。



卒業後の進路・・・

文系の学科なので、ほとんどの学生が進学せず、就職をします。専門性の高い学科にいるからそれ以外の業界への就職が不利になるのではないかと心配する人もいるかもしれませんが、そんなことはありません。新聞社やテレビ局などに就職する学生もいれば、IT企業、銀行などの金融系に就職する学生もいます。



最後に吉高生に向けて・・・

高校生の段階で、将来を考えて進路を決めることは大変難しいことだと思います。私も高校一年生のころ、自分の将来像が描けず進路をどうするか悩みました。そんな時、私の進路を決めるきっかけになったのはあるドキュメンタリー番組でした。その番組に感動した私は、番組作りに興味を抱くようになりマスコミに就職することを夢見て進路を決めました。そして縁あって、私は来春から



テレビ局に就職します。どんなところにきっかけがあるかわかりません。アンテナを張ってみてください。ただ私のように、具体的な職業に就きたいという夢を抱ける人は少ないのではないかと思いますし、それでも良いと思います。それこそ、学校の雰囲気が好きだ、とかこの大学に行きたいから、という理由で進路を決めても私は良いと思います。今将来が描けなくても、大学に進学すれば自ずと興味分野は広がっていくと思いますし、就職活動が始める大学3年生になって将来の夢、やりたい職業が変わることもあると思います。大学はゴールではなく、将来へのスタート地点でしかありません。気楽に、でも行ける大学ではなく行きたい大学を目指してほしいと思います。



そして大学生になったら、「大学」という枠に囚われずに、いろんな場所に行き、経験をしてください。前でも述べた通り、大学生活は「きっかけ」に満ちています。大学生活での4年間はあっという間に過ぎていきます。人生の中でこんなに自由で、やりたいことができる時間はもう無いでしょう。その4年間で、精一杯楽しんでほしいと思います。